様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	香川高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で 定 め る 基 準 単 位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	機械工学科				10	10	7	
	電気情報工学科				11	11	7	
	機械電子工学科				8	8	7	
	建設環境工学科				18	18	7	
	通信ネットワー ク工学科				14	14	7	
	電子システム工 学科				11	11	7	
	情報工学科				14	14	7	
	創造工学専攻				12	12	7	
	電子情報通信工 学専攻				12	12	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

機械工学科 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=39&department_id=31&year=2024&lang=ja
電気情報工学科 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=39&department_id=32&year=2024&lang=ja
機械電子工学科 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=39&department_id=33&year=2024&lang=ja

<p>建設環境工学科 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=39&department_id=34&year=2024&lang=ja</p> <p>通信ネットワーク工学科 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=39&department_id=35&year=2024&lang=ja</p> <p>電子システム工学科 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=39&department_id=36&year=2024&lang=ja</p> <p>情報工学科 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=39&department_id=37&year=2024&lang=ja</p> <p>創造工学専攻 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=39&department_id=41&year=2024&lang=ja https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=39&department_id=42&year=2024&lang=ja https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=39&department_id=43&year=2024&lang=ja https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=39&department_id=44&year=2024&lang=ja</p> <p>電子通信情報工学専攻 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=39&department_id=38&year=2024&lang=ja</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	香川高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2024/04/yakuin-20240401.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	熊本大学長	2016年4月1日～2029年3月31日	理事長
常勤	九州大学大学院総合理工学府長・研究院長	2024年4月1日～2026年3月31日	国際交流・海外展開 情報システム
非常勤	東京大学教授	2022年4月1日～2026年3月31日	男女共同参画
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	香川高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>設置者である独立行政法人国立高等専門学校機構が、全高専統一のフォーマットでシラバスを作成・公開するWebシステムを提供しており、本校もそれを使用している。</p> <p>次年度の授業計画は11月頃から作成し、各キャンパス教務小委員会委員において確認・確定し、4月1日から本校ホームページにてWebシラバスを公開している。</p> <p>シラバスには、到達目標、ルーブリック、教育方法、授業計画、評価割合等を記載している。</p> <p>なお、実務経験のある教員等による授業科目については、シラバスの「授業の属性・履修上の区分」の項目にその旨が示されている。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>Web シラバス https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=39&lang=ja</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>規則(香川高等専門学校学則、香川高等専門学校学業成績の評価・評定並びに進級及び卒業の認定に関する規程、香川高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規程)により履修、単位認定、進級・卒業要件及び専攻科の修了要件等を定め、公開している。</p> <p>シラバスに記載された評価方法・評価割合に従って、ルーブリックで設定された到達レベルに対する評価を行い、客観的に成績を算出している。</p> <p>本科は、学年末に実施される進級認定会議及び卒業認定会議において、進級及び卒業の認定を行っている。専攻科は、学年末に実施される専攻科修了認定会議において、単位修得及び課程修了の認定を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の成績評価は、一部の科目を除き、シラバスに表記する評価方法により、100点法で行う。</p> <p>学生の成績順位は、100点法で成績評価を行うとされる授業科目の評価に単位数を乗じて得た総得点を、同授業科目の総単位数で除した点数の高得点の順としている。</p> <p>各授業科目の成績は、年度途中の成績会議（科目担当教員出席）、学科会議、学年団会議と学年末の卒業認定会議及び専攻科修了認定会議で学内共有するとともに、学生・保護者等に対して書面で通知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧 (p. 55-58「香川高等専門学校学業成績の評価・評定並びに進級及び卒業の認定に関する規程」) の配付又は本校ホームページにより公表している。</p> <p>https://www.kagawa-nct.ac.jp/campuslife/handbook/takamatsu_binran2024.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本科の各学科および専攻科の各専攻でディプロマ・ポリシーを作成し、定められた能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業又は専攻科修了を認定している。</p> <p>また、規則（香川高等専門学校学則、香川高等専門学校学業成績の評価・評定並びに進級及び卒業の認定に関する規程、香川高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規程）により、卒業要件及び専攻科の修了要件等を定め、公開している。</p> <p>本科は、学年末に実施される卒業認定会議において、卒業の認定を行っている。専攻科は、学年末に実施される専攻科修了認定会議において、修了の認定を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>本校ホームページにより公表している。</p> <p>https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/index.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	香川高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kosen-k.go.jp/assets/pdf/release/225/zaimusyohyoR4.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kosen-k.go.jp/assets/pdf/release/225/zaimusyohyoR4.pdf
財産目録	
事業報告書	https://kosen-k.go.jp/assets/pdf/release/225/R4jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.kosen-k.go.jp/assets/pdf/release/225/kansaR4.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画 対象年度:令和6年度)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/assets/pdf/release/225/r6-keikaku.pdf
中長期計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画 対象年度:令和6年度から令和10年度)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/assets/pdf/release/225/5th-keikaku.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.kagawa-nct.ac.jp/general_affairs/evaluation/evaluation.html
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.kagawa-nct.ac.jp/general_affairs/evaluation/ninsyo/ninsyohyoka.html
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 機械工学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/prospectus/purpose/purpose.html ）
（概要） 1. 技術者としての社会に対する責任や倫理観について考える力を身につける。 2. 数学、物理学などの自然科学や機械工学に関連する基礎知識を身につける。 3. 問題解決に取り組み、自主的、継続的に技術的問題に取り組む力を身につける。 4. 記述、説明、発表、あるいは討論できる論理的な思考力やプレゼンテーション能力を身につける。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/ME/me.html ）
（概要） 機械工学科では、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。 1. 技術者としての社会に対する責任や倫理観について考えることができる。 2. 数学、物理学などの自然科学や機械工学に関する学習を継続的に行うことができる。 3. 技術的問題の解決に自主的、継続的に取り組むことができる。 4. 記述、説明、発表、あるいは討論のため、論理的に思考し、自分の考えを効果的にプレゼンテーションすることができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/ME/me.html ）
（概要） 機械工学科では、ディプロマ・ポリシーにて掲げた各能力を育成するために、以下の科目群を用意しています。 1. 国語や社会をはじめとする一般科目および技術者倫理に関する科目 2. 数学や物理および機械分野の基礎（力学、加工・設計・製図、情報・解析、電子・制御）に関する科目 3. 課題解決のための実験・実習に関する科目および卒業研究、校外実習 4. コミュニケーションに関する科目および卒業研究、校外実習 これらの科目群に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとします。 実験・実習の実技系科目群はレポート等の評価結果により認定します。 卒業研究は日常の取り組み、論文、中間発表会および卒業研究発表審査会の評価結果に基づいて認定します。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/ME/me.html ）
（概要） 本校の教育目的を達成することができるように、中学卒業生としての基礎学力と学習意欲を有し、技術者を志す次のような人を求めます。 〈本校の求める学生像〉 ・技術や科学に関心のある人 ・数学や理科への興味、勉学意欲のある人 ・自主性と協調性、積極性のある人 ・人と自然を大切にする人

求める学生像に基づき、その能力・適性において本校の教育を受けるにふさわしい資質を有する学生を選抜することを目的とし、推薦と学力検査による選抜を行います。

推薦による選抜では、本校の教育を受けるのに必要な素養・目的意識と基礎学力を有する学生を選抜するため、推薦書、調査書及び科目に関する口頭試問を含む面接を総合評価します。

学力検査による選抜では、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有する学生を選抜するため、学力検査と調査書を総合評価します。

学部等名 電気情報工学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/prospectus/purpose/purpose.html ）
（概要） 1. 技術の産物が社会や自然に及ぼす影響を判断できる力と責任感，倫理観を持つ。 2. 数学，物理等の基礎学理と専門基礎工学を十分に習得し，専門応用分野の急速な技術の進展に追従でき，生涯にわたる学習能力を有する。 3. 自主的に課題に取り組む姿勢と能力を身につけ，互いに協力して課題に取り組める。 4. 論理的な記述・表現ができる。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/EC/ec.html ）
（概要） 電気情報工学科では，以下のような能力を身につけ，所定の単位を修得した学生に対して，卒業を認定します。 1. 技術者としての責任感，倫理観を有し，技術の発展が社会や自然に及ぼす影響を判断できる。 2. 数学，物理等の工学分野の基礎知識と電気情報分野の基礎知識に基づいた専門応用能力を身につけ，急速な技術の発展に対応できる。 3. 自主的に課題に取り組む姿勢と生涯学習能力を身につけ，互いに協力して課題に取り組むことができる。 4. レポートやプレゼンテーションの作成において，論理的な記述・表現ができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/EC/ec.html ）
（概要） 電気情報工学科では，ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために，以下の科目群を用意しています。 1. リベラルアーツおよび技術者倫理に関する科目群：語学，人文科学，社会科学などの一般科目および技術者倫理に関する科目 2. 数学，物理等の工学分野の基礎知識と電気情報分野の基礎知識に関する科目群： （自然科学分野）数学，物理，化学 （電気電子系分野）電気回路，電磁気学，電子回路，計測など （情報系分野）プログラミング，ソフトウェア，計算機工学，情報通信ネットワークなど 3. 課題解決能力を育む実験・実習に関する科目群：実験実習に関する科目，卒業研究，設計科目，校外実習など 4. 論理的表現能力育成のための科目群：設計科目や卒業研究など これらの科目群に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとします。 実験・実習の実技系科目群はレポート等の評価結果により認定します。 卒業研究は日常の取り組み，論文，中間発表会および卒業研究発表審査会の評価結果に基づいて認定します。

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/EC/ec.html）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校の教育目的を達成することができるように、中学卒業生としての基礎学力と学習意欲を有し、技術者を志す次のような人を求めます。</p> <p>〈本校の求める学生像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術や科学に関心のある人 ・数学や理科への興味、勉学意欲のある人 ・自主性と協調性、積極性のある人 ・人と自然を大切にする人 <p>求める学生像に基づき、その能力・適性において本校の教育を受けるにふさわしい資質を有する学生を選抜することを目的とし、推薦と学力検査による選抜を行います。</p> <p>推薦による選抜では、本校の教育を受けるのに必要な素養・目的意識と基礎学力を有する学生を選抜するため、推薦書、調査書及び科目に関する口頭試問を含む面接を総合評価します。</p> <p>学力検査による選抜では、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有する学生を選抜するため、学力検査と調査書を総合評価します。</p>

<p>学部等名 機械電子工学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/prospectus/purpose/purpose.html）</p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会や文化に関する教養を身につけ、機械システムが社会や自然に及ぼす影響を考える能力を身につける。 2. メカトロニクス技術を利用し、高機能な機械システムの開発・生産に携わる能力を身につける。 3. メカトロニクス分野の知識を基に、与えられた課題に対し、創造性を発揮して問題解決する能力を身につける。 4. 論理的な説明能力と簡単な英語でのコミュニケーション能力を持ち、社会性・協調性を発揮し行動する能力を身につける。
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/MS/ms.html）</p>
<p>（概要）</p> <p>機械電子工学科では、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会や文化に関する教養を身につけ、機械システムが社会や自然に及ぼす影響を考えることができる。 2. メカトロニクス技術を利用し、高機能な機械システムの開発・生産に携わることができる。 3. メカトロニクス分野の知識を基に、与えられた課題に対し、創造性を発揮して問題解決することができる。 4. 論理的な説明能力と簡単な英語でのコミュニケーション能力を持ち、社会性・協調性を発揮し行動できる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/MS/ms.html）</p>

<p>(概要)</p> <p>機械電子工学科では、ディプロマ・ポリシーにて掲げた各能力を育成するために、以下の科目群を用意しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般教養と技術者倫理：国語，社会，人文科学，社会科学，技術者倫理を扱う専門科目など 2. 理数系基礎：基礎数学，微分積分，機械電子数学，物理，基礎物理学，化学など メカトロニクス：機械分野（製図，機械設計工学，材料力学，熱流体工学，加工学基礎，機械材料学など） 電気電子分野（電気回路，電子回路など） 制御・情報分野（制御工学，情報処理など） 3. 課題解決能力育成：基礎実験実習，機械電子工学実験，卒業研究など 4. コミュニケーション：技術科学表現，機械電子工学実験，英語，保健・体育など <p>これらの科目群に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとします。 実験・実習の実技系科目群はレポート等の評価結果により認定します。 卒業研究は日常の取組み，論文，中間発表会および卒業研究発表審査会の評価結果に基づいて認定します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/MS/ms.html）</p>
<p>(概要)</p> <p>本校の教育目的を達成することができるように、中学卒業生としての基礎学力と学習意欲を有し、技術者を志す次のような人を求めます。</p> <p>〈本校の求める学生像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術や科学に関心のある人 ・数学や理科への興味，勉学意欲のある人 ・自主性と協調性，積極性のある人 ・人と自然を大切にする人 <p>求める学生像に基づき，その能力・適性において本校の教育を受けるにふさわしい資質を有する学生を選抜することを目的とし，推薦と学力検査による選抜を行います。</p> <p>推薦による選抜では，本校の教育を受けるのに必要な素養・目的意識と基礎学力を有する学生を選抜するため，推薦書，調査書及び科目に関する口頭試問を含む面接を総合評価します。</p> <p>学力検査による選抜では，本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有する学生を選抜するため，学力検査と調査書を総合評価します。</p>
<p>学部等名 建設環境工学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/prospectus/purpose/purpose.html）</p>
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広い視野を持ち，環境問題やエネルギー問題などを認識し，技術者としての倫理観を高める。 2. 数学，物理などの自然科学に関する基礎知識を持ち，それを土台として専門基礎技術を習得する。 3. 各種実験・実習，設計製図やデザイン系科目などの学習により，実践力や創造力を涵養する。 4. 多くの様々な報告書作成やその発表を通してコミュニケーション能力を高める。
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/CV/cv.html）</p>

<p>(概要)</p> <p>建設環境工学科は、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建設技術者としての責任感と倫理観を有し、建設技術が社会や自然に及ぼす影響を判断できる。 2. 自然科学の基礎知識と土木工学の専門知識を身につけ、技術の発展に対応できる。 3. 自主的に課題に取り組む姿勢を身につけ、互いに協力して課題解決に取り組むことができる。 4. 報告書作成や発表において、論理的な記述・表現ができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/CV/cv.html）</p>
<p>(概要)</p> <p>建設環境工学科は、ディプロマ・ポリシーに掲げた各能力を育成するために、以下の科目群を用意しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人文社会科学及び語学と環境，技術者倫理に関わる科目：社会，国語，英語，環境 2. 工学の基礎科目ならびに土木工学の専門科目：数学，物理，化学，測量，材料，構造，地盤，水理，環境，計画，施工・法規，情報処理，製図 3. 技術習得のための実験・演習科目：実験実習，設計製図，校外実習 4. 総合的能力育成のための科目：創成工学，卒業研究 <p>これらの科目群に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとします。 実験・実習の実技系科目群はレポート等の評価結果により認定します。 卒業研究は日常の取組み，論文，中間発表会および卒業研究発表審査会の評価結果に基づいて認定します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/CV/cv.html）</p>
<p>(概要)</p> <p>本校の教育目的を達成することができるように、中学卒業生としての基礎学力と学習意欲を有し、技術者を志す次のような人を求めます。</p> <p>〈本校の求める学生像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術や科学に関心のある人 ・数学や理科への興味，勉学意欲のある人 ・自主性と協調性，積極性のある人 ・人と自然を大切にする人 <p>求める学生像に基づき，その能力・適性において本校の教育を受けるにふさわしい資質を有する学生を選抜することを目的とし，推薦と学力検査による選抜を行います。 推薦による選抜では，本校の教育を受けるのに必要な素養・目的意識と基礎学力を有する学生を選抜するため，推薦書，調査書及び科目に関する口頭試問を含む面接を総合評価します。 学力検査による選抜では，本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有する学生を選抜するため，学力検査と調査書を総合評価します。</p>

<p>学部等名 通信ネットワーク工学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法： http://www.kagawa-nct.ac.jp/prospectus/purpose/purpose.html）</p>
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報通信分野の技術に必要なコンピュータ，ネットワーク，エレクトロニクスの知識を身につけ技術者倫理を有する。 2. 無線・有線通信に関する資格を取得するとともに，技術の変化に対応できる。 3. 既成概念にとらわれず，工学技術の創意工夫と向上に努力し，共同作業ができる。 4. 情報機器を用い，情報収集，文書作成および発表ができる。

<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/CN/cn.html）</p>
<p>（概要） 通信ネットワーク工学科では、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.技術者としての倫理観と責任感を有し、社会の発展に寄与できる。 2.コンピュータ、ネットワーク、エレクトロニクスに関する基礎知識と応用能力を身につけ、技術の変化に対応できる。 3.無線・有線通信に関する資格の取得を目指し自主的・継続的に学習できる。 4.既成概念にとらわれず、工学技術の創意工夫と向上に努力し、共同作業ができる。 5.情報機器を用い、情報収集、文書作成およびプレゼンテーションができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/CN/cn.html）</p>
<p>（概要） 通信ネットワーク工学科では、ディプロマ・ポリシーにて掲げた能力を育成するために、以下の科目群を用意しています。また、卒業時に第一級陸上特殊無線技士の国家資格が取得できるよう科目を配置しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.国語や社会をはじめとする教養科目および技術者倫理に関する科目 2.数学、物理学、電気・電子工学の基礎専門科目とコンピュータ・ネットワーク・エレクトロニクス関連の専門科目 3.通信技術・資格関連の専門科目：無線通信工学、電気通信システム、電波伝送学など 4.技術修得のための実験・演習・共同作業科目：創造実験・実習、基礎工学実験・実習など 5.情報機器を用いた総合的能力育成のための科目：工学実験、通信工学セミナー、卒業研究など <p>これらの科目群に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとしませんが、演習・実験・実習の科目ではレポートやプレゼンテーション等の評価結果により認定します。 また、卒業研究は実施状況、実施報告書、卒業論文、中間発表および卒業研究発表会のプレゼンテーションに基づいて認定します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： http://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/CN/cn.html）</p>
<p>（概要） 本校の教育目的を達成することができるように、中学卒業生としての基礎学力と学習意欲を有し、技術者を志す次のような人を求めます。</p> <p>〈本校の求める学生像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術や科学に関心のある人 ・数学や理科への興味、勉強意欲のある人 ・自主性と協調性、積極性のある人 ・人と自然を大切にする人 <p>求める学生像に基づき、その能力・適性において本校の教育を受けるにふさわしい資質を有する学生を選抜することを目的とし、推薦と学力検査による選抜を行います。 推薦による選抜では、本校の教育を受けるのに必要な素養・目的意識と基礎学力を有する学生を選抜するため、推薦書、調査書及び科目に関する口頭試問を含む面接を総合評価します。 学力検査による選抜では、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有する学生を選抜するため、学力検査と調査書を総合評価します。</p>
<p>学部等名 電子システム工学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法： http://www.kagawa-nct.ac.jp/prospectus/purpose/purpose.html）</p>

<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.回路, 半導体, コンピュータなどの専門科目を基礎として, デバイスやロボットに関する実践的な専門技術を身につける。 2.広い視野を持ち, 設計, 製作, 問題発見, 問題解決ができる。 3.計画を立案し, 継続して課題に取り組むことができる。 4.物事を論理的に考え, 文章や口頭で発表できる。
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法 : http://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/ES/es.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>電子システム工学科では, 以下の能力を身に付け, 所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.回路, 半導体, コンピュータなどの専門科目を基礎とした, デバイスやロボットに関する実践的な専門技術を有する。 2.広い視野を持ち, 設計, 製作, 問題発見, 問題解決ができる。 3.計画を立案し, 継続して課題に取り組むことができる。 4.物事を論理的に考え, 文章や口頭で発表できる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : http://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/ES/es.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>電子システム工学科では, ディプロマ・ポリシーにて掲げた能力を育成するために, 以下の科目群を用意しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.物理, 化学や数学と電気電子分野の基礎・応用 (エレクトロニクス・回路, コンピュータプログラミング・制御) に関する科目, 技術修得のための実験・実習に関する科目 2.社会などの教養科目と実験・実習に関する科目および電子システムセミナー・卒業研究 3.実験・実習に関する科目および電子システムセミナー・卒業研究 4.コミュニケーションや語学に関する科目および電子システムセミナー・卒業研究 <p>これらの科目群に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとしますが, 実験・実習の実技系科目群はレポートやプレゼンテーション等の評価結果により認定します。電子システムセミナーは日常の取組みおよび発表会の評価結果に基づいて認定します。また, 卒業研究は日常の取組み, 卒業研究発表会予稿および発表の評価結果に基づいて認定します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : http://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/ES/es.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>本校の教育目的を達成することができるように, 中学卒業生としての基礎学力と学習意欲を有し, 技術者を志す次のような人を求めます。</p> <p>〈本校の求める学生像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術や科学に関心のある人 ・数学や理科への興味, 勉学意欲のある人 ・自主性と協調性, 積極性のある人 ・人と自然を大切にする人 <p>求める学生像に基づき, その能力・適性において本校の教育を受けるにふさわしい資質を有する学生を選抜することを目的とし, 推薦と学力検査による選抜を行います。</p> <p>推薦による選抜では, 本校の教育を受けるのに必要な素養・目的意識と基礎学力を有する学生を選抜するため, 推薦書, 調査書及び科目に関する口頭試問を含む面接を総合評価します。</p> <p>学力検査による選抜では, 本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有する学生を選抜するため, 学力検査と調査書を総合評価します。</p>

学部等名 情報工学科
<p>教育研究上の目的（公表方法： http://www.kagawa-nct.ac.jp/prospectus/purpose/purpose.html）</p> <p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広い視野を持ち、社会の要求する情報システムを設計・構築できる。 2. コンピュータの基礎から応用まで体系的に理解し、コンピュータを活用できる。 3. 主体的に問題を提起し、継続して課題に取り組み、解決できる。 4. 文書能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を有する。
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/IT/it.html）</p> <p>（概要）</p> <p>情報工学科では、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広い知識と教養を身につけ、社会の発展に寄与できる。 2. 情報工学に関する基礎から応用までの知識を有し、時代の変遷に対応できる。 3. 情報科学における新たな問題を提議でき、それを解決するためのシステムを構築できる。 4. 物事を論理的に思考でき、それを表現して伝えるコミュニケーション能力を有する。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/IT/it.html）</p> <p>（概要）</p> <p>情報工学科では、ディプロマ・ポリシーにて掲げた能力を育成するために、以下の科目群を用意しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国語や社会をはじめとする教養科目および技術者倫理に関する科目 2. 数学や物理および情報分野の基礎（情報処理、コンピュータシステム、コンピュータネットワーク、電気・電子）に関する科目 3. 実験・実習に関する科目および情報工学セミナー・卒業研究 4. コミュニケーションに関する科目および情報工学セミナー・卒業研究 <p>これらの科目群に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとします。 実験・実習の実技系科目群はレポート等の評価結果により認定します。 情報工学セミナー・卒業研究は日常の取組み、中間発表会および最終発表会の予稿と発表の評価結果に基づいて認定します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： http://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/IT/it.html）</p> <p>（概要）</p> <p>本校の教育目的を達成することができるように、中学卒業生としての基礎学力と学習意欲を有し、技術者を志す次のような人を求めます。</p> <p>〈本校の求める学生像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術や科学に関心のある人 ・ 数学や理科への興味、勉学意欲のある人 ・ 自主性と協調性、積極性のある人 ・ 人と自然を大切にする人 <p>求める学生像に基づき、その能力・適性において本校の教育を受けるにふさわしい資質を有する学生を選抜することを目的とし、推薦と学力検査による選抜を行います。</p> <p>推薦による選抜では、本校の教育を受けるのに必要な素養・目的意識と基礎学力を有する学生を選抜するため、推薦書、調査書及び科目に関する口頭試問を含む面接を総合評価します。</p> <p>学力検査による選抜では、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有する学生を選抜するため、学力検査と調査書を総合評価します。</p>

学部等名 創造工学専攻
教育研究上の目的（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/prospectus/purpose/purpose.html ）
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 技術の産物が社会や自然に及ぼす影響を判断できる力と責任感，倫理観を養うため，人類，世界，文化に関心を持ち，視野の広い技術者を育成する。 2. 自然科学と専門技術の基礎を身につけ，それを具体的問題に応用できる技術者を育成する。 3. 自ら課題を発見して，自主的に取り組み解決する姿勢と能力を身につける。また互いに協力し合って課題に取り組める創造力豊かな技術者を育成する。 4. 物事を論理的に考えて，それを文章と口頭で明確に表現できる力を身につける。英語では基本的な記述，表現が行える語学力を身につけた技術者を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/AS/me.html https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/AS/ec.html https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/AS/ms.html https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/AS/cv.html ）
<p>（概要）</p> <p>（機械工学コース）</p> <p>機械工学コースは，機械工学の知識をベースに，社会性，経済性及び安全性に配慮し，既存の考え方だけでなく工夫考案したアイデアを設計指針に取り入れ，目的に合致した「モノづくり」を行うための幅広い思考力と独創性に身に付けた技術者を育成するため，以下のような能力を身に付けたことを所定の単位を修得した学生に対して認め，修了を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 技術者としての社会に対する責任や倫理観や社会を構成する経済や文化について考えることができる。 2. 数学，物理学などの自然科学や機械工学に関する基礎知識を組み合わせ応用できる。 3. 技術的課題に対して，自主的，継続的に創意工夫し，取り組むことができる。 4. 日本語で論理的な記述，説明，発表及び討論ができる。英語で基礎的な記述・表現ができる。 <p>（電気情報工学コース）</p> <p>電気情報工学コースは，本科で修得した電気回路や情報処理等の電気電子・情報通信分野における工学基礎と専門工学基礎を礎とし，より高度な専門的知識や技術を修得するため，本校に在籍し，以下の能力を身に付け，所定の単位を修得した学生に対して，修了を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人類，世界，文化に広く関心を持ち，技術の産物が社会や自然に及ぼす影響を判断できる。 2. 自然科学と専門技術の基礎を身につけ，それを具体的に問題に応用できる。 3. 自ら課題を発見して，自主的に取り組むことができる。また，互いに協力して課題に取り組むことができる。 4. 物事を論理的に考えて，それを文章と口頭で明確に表現できる。英語による基本的な記述，表現ができる。 <p>（機械電子工学コース）</p> <p>機械電子工学コースは，本科で修得したメカトロニクス分野の知識と技術を基礎にして，より高度な専門的知識と技術を修得するため，以下の能力を身に付け，所定の単位を修得した学生に対して，修了を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会を支える技術の実態と技術者の役割を認識する倫理感を身につけ，事例を通じてそれらを説明することができる。 2. 自然科学とメカトロニクス分野の知識を組み合わせ，高機能な機械システムの開発・生産に適用することができる。 3. メカトロニクス分野の知識を基に，課題に対して背景や目的・問題点を理解し，適切に

計画を立て、相互に協力・工夫することで問題を解決することができる。

4. 学習成果を報告書として論理的にまとめることができ、発表資料と口頭により明確に表現できる。また、学習成果の要約を平易な技術英文により記述することができる。

(建設環境工学コース)

建設環境工学コースは、本科で修得した建設環境工学分野の知識と技術を基礎にして、より高度な専門的知識と技術を修得するため、以下の能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定します。

1. 建設技術者としての責任感と倫理観を有し、建設技術が社会や自然に及ぼす影響を説明できる。
2. 自然科学と土木工学の基礎を身につけ、社会基盤を設計できる。
3. 課題に対して自発的に、また互いに協力し合って取り組み、創意工夫ができる。
4. 報告書作成や発表において論理的な記述・表現ができる。英語で基本的な記述・表現ができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/AS/me.html

https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/AS/ec.html

https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/AS/ms.html

https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/AS/cv.html)

(概要) ディプロマ・ポリシーに掲げた各能力を育成するために、以下の科目群を用意しています。

(機械工学コース)

1. 国語に関する教養科目および社会に関する工学基礎科目
2. 自然科学に関する工学基礎科目および力学、熱流体、材料、情報処理、などの機械工学に関する科目
3. 特別研究、実験・実習の実技系科目およびインターンシップ
4. 特別研究、実験・実習の実技系科目および英語に関する教養科目

(電気情報工学コース)

1. 教養科目および特別研究、輪講
2. 自然科学系の科目、専門科目（電気電子工学・情報工学）、工学実験・実習
3. 特別研究、輪講、工学実験・実習およびインターンシップ
4. 英語科目、特別研究、輪講、工学実験・実習およびインターンシップ

(機械電子工学コース)

1. 教養科目及び技術者倫理などの工学基礎科目
2. 自然科学系科目、メカトロニクス分野の専門科目
3. 特別研究、輪講、実験・実習の実技系科目、およびインターンシップ
4. 特別研究、輪講、実験・実習の実技系科目、および英語科目

(建設環境工学コース)

1. 教養科目および技術者倫理などの工学基礎科目
2. 自然科学系の科目、土木工学の基礎的な専門科目、構造・防災・計画及び情報処理の総合的設計に関わる専門科目
3. 特別研究、実験・実習の実技系科目、演習科目及びインターンシップ
4. 特別研究、実験・実習の実技系科目及び英語科目

これら科目群に関わる単位修得は、定期試験とレポート等の評価結果により認定します。実験・実習の実技系科目は、レポート等の評価結果に基づき認定します。特別研究は、日常の取り組み、発表審査会及び特別研究論文の審査結果に基づいて認定します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/AS/me.html

https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/AS/ec.html

https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/AS/ms.html

https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/AS/cv.html

(概要)

香川高等専門学校専攻科は、科学技術創造立国を目指す我が国において、分析・解析能力、創造的課題解決能力及び研究開発能力を身に付け、様々な産業分野において指導的役割を担える創造性豊かな実践的技術者を社会に送り出すとともに、共同研究等をとおして地元産業、地域社会への積極的な貢献を行うことを目的としています。

コース別要件

(機械工学コース)

1. 倫理観と責任感を備え論理的思考力を身に付けた人
2. 高度な技術と工学を学ぶために必要な基礎を修得した人
3. 勉学・研究意欲が高く、自ら創意工夫して行動する人
4. 英語を含めたコミュニケーション能力の基礎を身につけた人
5. 得意分野を有する機械技術者になる意欲があり、機械工学の基礎知識を持った人

(電気情報工学コース)

1. 倫理観と責任感を備え論理的思考力を身に付けた人
2. 高度な技術と工学を学ぶために必要な基礎を修得した人
3. 勉学・研究意欲が高く、自ら創意工夫して行動する人
4. 英語を含めたコミュニケーション能力の基礎を身につけた人
5. 電気電子情報分野の幅広い専門知識とともに課題発見・解決能力を修得する意欲を持った人

(機械電子工学コース)

1. 倫理観と責任感を備え論理的思考力を身に付けた人
2. 高度な技術と工学を学ぶために必要な基礎を修得した人
3. 勉学・研究意欲が高く、自ら創意工夫して行動する人
4. 英語を含めたコミュニケーション能力の基礎を身につけた人
5. 「モノづくり」を担う実践的技術者になる意欲があり、機械・電子工学の基礎知識を持った人

(建設環境工学コース)

1. 倫理観と責任感を備え論理的思考力を身に付けた人
2. 高度な技術と工学を学ぶために必要な基礎を修得した人
3. 勉学・研究意欲が高く、自ら創意工夫して行動する人
4. 英語を含めたコミュニケーション能力の基礎を身につけた人
5. 土木技術者になる意欲があり、土木工学の基礎知識を持った人

「求める学生像」に基づき、その能力・適性において本校専攻科の教育を受けるにふさわしい資質を有する者を選抜することを目的とし、推薦による選抜、学力検査による選抜及び社会人特別選抜を行います。

推薦による選抜では、本校専攻科の教育を受けるのに必要な素養・目的意識と基礎学力を有する者を選抜するため、推薦書、調査書、志望理由書により総合的に評価します。ただし、提出された出願書類の内容を確認する目的で面接を実施する場合があります。

学力検査による選抜では、本校専攻科の教育を受けるのに必要な素養・目的意識と基礎学力を有する者を選抜するため、学力検査と調査書、志望理由書及び面接により総合的に評価します。

社会人特別選抜では、本校専攻科の教育を受けるのに必要な素養・目的意識と基礎学力を有する者を選抜するため、推薦書、調査書、志望理由書、小論文及び専門科目に関する口頭試問を含む面接により総合的に評価します。

<p>学部等名 電子情報通信工学専攻</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法： http://www.kagawa-nct.ac.jp/prospectus/purpose/purpose.html）</p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 技術者としての責任を自覚し、人類の福祉に貢献できる倫理観を身につけた電子情報通信分野における実践的・高度開発型技術者を養成する。 2. 技術者としての基礎知識を身につけ、高度な関連技術を修得し、広い視野を持って技術の発展に対応できる技術者を養成する。 3. 与えられた課題を達成する手段を設計し、粘り強く問題解決に取り組むことができる技術者を養成する。 4. 情報機器を活用して情報収集や情報分析、文書作成、口頭発表ができ、日本語及び英語で共同作業ができる技術者を養成する。
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/EIC/eic.html）</p>
<p>（概要）</p> <p>電子情報通信分野の高度な知識・素養を身につけ複合領域にも対応できる幅広い視野を持ち、高い問題設定・解決能力を涵養するため、以下の能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 技術者としての責任を自覚し、倫理観を身につけ、人類の福祉に貢献できる能力 2. 技術者としての基礎知識を身につけ、高度な関連技術を修得し、広い視野を持って技術の発展に対応できる能力 3. 与えられた課題を達成する手段を設計し、粘り強く問題解決に取り組むことができる能力 4. 情報機器を活用して情報収集や情報分析、文章作成、口頭発表ができる能力、日本語及び英語により、それらの共同作業を行うことができる能力
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/EIC/eic.html）</p>
<p>（概要）</p> <p>電子情報通信工学専攻では、ディプロマ・ポリシーに掲げた各能力を育成するために、以下の科目群を用意しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教養科目及び技術者倫理などの工学基礎科目 2. 自然科学系の科目、電気電子工学、通信工学、情報工学の基礎となる科目及び電気電子・通信・計算機システムに関する科目 3. 特別研究、特別実験・演習Ⅱにおけるエンジニアリング・デザイン教育など電気電子工学、通信工学、情報工学に関する演習・実験・実習科目、及び周辺技術等に関する科目 4. コミュニケーション英語、工業英語などの語学やインターンシップ、特別研究などの電気電子工学、通信工学、情報工学に関する演習・実験・実習科目 <p>これら科目群に関わる単位修得は、定期試験とレポート等の評価結果により認定します。実験・実習の実技系科目は、レポート等の評価結果に基づき認定します。特別研究は、日常の取組み、発表審査会及び特別研究論文の審査結果に基づいて認定します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： http://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/policy/EIC/eic.html）</p>
<p>（概要）</p> <p>香川高等専門学校専攻科は、科学技術創造立国を目指す我が国において、分析・解析能力、創造的課題解決能力及び研究開発能力を身に付け、様々な産業分野において指導的役割を担える創造性豊かな実践的技術者を社会に送り出すとともに、共同研究等をとおして地元産業、地域社会への積極的な貢献を行うことを目的としています。</p> <p>そのために、電子情報通信工学専攻では次のような人材を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 技術者を目指す者としての倫理観と責任感がある人 2. 電子情報通信分野の基礎を修得した人

<p>3. 研究や開発に主体的に取り組む意欲がある人</p> <p>4. 国際コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身につけた人</p> <p>「求める学生像」に基づき、その能力・適性において本校専攻科の教育を受けるにふさわしい資質を有する者を選抜することを目的とし、推薦による選抜、学力検査による選抜及び社会人特別選抜を行います。</p> <p>推薦による選抜では、本校専攻科の教育を受けるのに必要な素養・目的意識と基礎学力を有する者を選抜するため、推薦書、調査書、志望理由書により総合的に評価します。ただし、提出された出願書類の内容を確認する目的で面接を実施する場合があります。</p> <p>学力検査による選抜では、本校専攻科の教育を受けるのに必要な素養・目的意識と基礎学力を有する者を選抜するため、学力検査と調査書、志望理由書及び面接により総合的に評価します。</p> <p>社会人特別選抜では、本校専攻科の教育を受けるのに必要な素養・目的意識と基礎学力を有する者を選抜するため、推薦書、調査書、志望理由書、小論文及び専門科目に関する口頭試問を含む面接により総合的に評価します。</p>
--

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：https://www.kagawa-nct.ac.jp/prospectus/publication/yoran/yoran_jap.html</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
一般教育科（高松 CP）	—	5人	4人	5人	4人	0人	18人
機械工学科	—	3人	1人	2人	2人	0人	8人
電気情報工学科	—	3人	3人	2人	1人	0人	9人
機械電子工学科	—	3人	3人	2人	2人	0人	10人
建設環境工学科	—	3人	3人	2人	1人	0人	9人
創造工学専攻	—	2人	0人	0人	0人	0人	2人
地域人材開発本部	—	0人	1人	0人	0人	0人	1人
一般教育科（詫間 CP）	—	5人	4人	1人	1人	0人	11人
通信ネットワーク工学科	—	3人	6人	0人	0人	0人	9人
電子システム工学科	—	1人	3人	4人	0人	0人	8人
情報工学科	—	4人	4人	1人	0人	0人	9人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		27人					27人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）	公表方法： https://research.kosen-k.go.jp/researcher-list/?page=1&limit=30&districtId=07&affiliationId=6676000000						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
例年全教員を対象とした教育実践事例報告会を開催し、教育能力等の向上に努めている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
機械工学科	40人	41人	102.5%	200人	197人	98.5%	若干人	0人
電気情報工学科	40人	42人	105%	200人	208人	104%	若干人	0人
機械電子工学科	40人	42人	105%	200人	202人	101%	若干人	0人
建設環境工学科	40人	41人	102.5%	200人	198人	99%	若干人	0人
通信ネットワーク工学科	40人	42人	105%	200人	196人	98%	若干人	0人
電子システム工学科	40人	42人	105%	200人	212人	106%	若干人	0人
情報工学科	40人	42人	105%	200人	216人	108%	若干人	0人
合計	280人	292人	104.3%	1,400人	1,429人	102.1%	若干人	0人
創造工学専攻	24人	26人	108.3%	48人	54人	112.5%	0人	0人
電子情報通信工学専攻	18人	13人	72.2%	36人	33人	91.7%	0人	0人
合計	42人	39人	92.9%	84人	87人	103.6%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
機械工学科	41人 (100%)	11人 (26.8%)	27人 (65.9%)	3人 (7.3%)
電気情報工学科	36人 (100%)	20人 (55.5%)	15人 (41.7%)	1人 (2.8%)
機械電子工学科	38人 (100%)	14人 (36.8%)	23人 (60.5%)	1人 (2.7%)
建設環境工学科	43人 (100%)	12人 (28%)	31人 (72%)	0人 (0%)
通信ネットワーク工学科	38人 (100%)	8人 (21.1%)	30人 (78.9%)	0人 (0%)
電子システム工学科	34人 (100%)	8人 (23.5%)	25人 (73.5%)	1人 (3.0%)
情報工学科	37人 (100%)	16人 (43.2%)	21人 (56.8%)	0人 (0%)
合計	267人 (100%)	89人 (33.3%)	172人 (64.4%)	6人 (2.2%)
創造工学専攻	30人 (100%)	10人 (33.3%)	20人 (66.7%)	0人 (0%)
電子情報通信工学専攻	15人 (100%)	1人 (6.7%)	14人 (93.3%)	0人 (0%)
合計	45人 (100%)	11人 (24.4%)	34人 (75.6%)	0人 (0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) https://www.kagawa-nct.ac.jp/usermenu/graduand.html				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 次年度の授業計画は11月頃から作成し、4月1日から本校ホームページにて Web シラバスを公開している。 シラバスには、到達目標、ルーブリック、教育方法、授業計画、評価割合を記載している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
規則（香川高等専門学校学則、香川高等専門学校学業成績の評価・評定並びに進級及び卒業の認定に関する規程、香川高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規程）により、卒業要件及び専攻科の修了要件等を定め、卒業認定会議又は専攻科修了認定会議において卒業又は修了の認定を行っている。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	機械工学科	167 単位	有・無	単位
	電気情報工学科	167 単位	有・無	単位
	機械電子工学科	167 単位	有・無	単位
	建設環境工学科	167 単位	有・無	単位
	通信ネットワーク 工学科	167 単位	有・無	単位
	電子システム工学 科	167 単位	有・無	単位
	情報工学科	167 単位	有・無	単位
	創造工学専攻	62 単位	有・無	単位
	電子情報通信工学 専攻	62 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.kagawa-nct.ac.jp/prospectus/accessmap/campusmap.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	機械工学科	234,600 円	84,600 円	通学生 53,750 円 寮生 152,950 円	スポーツ振興センター共済掛金 (1,550 円) 学生会費 (7,200 円) 学生会入会金 (5,000 円) 教科書代 (約 54,000 円) 【寮生】 寄宿料 (8,400 円) 入寮金 (2,000 円) 寮費 (78,000 円) 寮厚生費 (4,800 円) 寮設備維持費 (6,000 円)
	電気情報 工学科	234,600 円	84,600 円	通学生 53,750 円 寮生 152,950 円	同上
	機械電子 工学科	234,600 円	84,600 円	通学生 53,750 円 寮生 152,950 円	同上
	建設環境 工学科	234,600 円	84,600 円	通学生 53,750 円 寮生 152,950 円	同上
	通信ネッ トワーク 工学科	234,600 円	84,600 円	通学生 57,950 円 寮生 139,870 円	スポーツ振興センター共済掛金 (1,550 円) 学生会費 (10,400 円)

					学生会入会金(6,000円) 教科書代(約30,000円) 【寮生】 寄宿料(8,400円) 入寮金(2,000円) 寮費(60,720円) 寮厚生費(4,800円) 設備維持費(6,000円)
	電子システム工学科	234,600円	84,600円	通学生 57,950円 寮生 139,870円	同上
	情報工学科	234,600円	84,600円	通学生 57,950円 寮生 139,870円	同上
	創造工学専攻	234,600円	84,600円	通学生 1,550円 寮生 98,750円	スポーツ振興センター共済掛金(1,550円) 【寮生】 寄宿料(8,400円) 寮費(78,000円) 寮厚生費(4,800円) 寮設備維持費(6,000円)
	電子情報通信工学専攻	234,600円	84,600円	通学生 1,550円 寮生 81,470円	スポーツ振興センター共済掛金(1,550円) 【寮生】 寄宿料(8,400円) 寮費(60,720円) 寮厚生費(4,800円) 設備維持費(6,000円)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 日本学生支援機構をはじめ各団体の貸与型及び給付型奨学金について、募集の都度、掲示及びメールにて学生・保護者等へ周知を行っている。また、入学料及び授業料について、免除及び徴収猶予の制度により支援している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 高松キャンパスでは、就職または進学する者への支援として、学生（保護者等含む）に対して以下の取組を行っている。 ①特に低学年から職業意識の向上、企業名や現場、工場など自分がどのような場所で働くのかわかる目的で、香川県内の地域技術者及び香川県技術士会による出前講座（本科2,3年対象）を実施 ②就職活動を始める本科4年生、専攻科1年生には、外部講師による面接実技研修、キャリアサポートセンター長による進路ガイダンス、本校主催の企業研究セミナーなどの就職関連イベント（7講座）を実施 ③高専生が社会でどのように活躍しているかなど、本校OB/OGによる特別講義を定期的に開催 詫間キャンパスでは、進路ガイダンスの実施、学内開催の合同企業説明会や合同大学説明会の開催、学外開催の合同会社説明会の案内、OBによる就職説明会等の学内開催、面接実技研修等を実施している。また、進路希望先を調査して、斡旋や推薦を行っている。 別に、保護者等向けに支援活動等の報告もしている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

高松キャンパスでは、令和元年度から、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーも含めて関係する全教職員が一堂に会して、副校長、学生相談室長、各主事、専門家(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー)が、定期的にかつ主体的に問題提起を行い、問題点を組織全体で捉え検討・活発に議論する事例報告会を定期的で開催している。これにより、校長のイニシアティブの発揮や、特定の教員等が問題を一人で抱えることを防止し、教職員全体の学生理解の意識の向上やスキルアップ、ひいては学校全体の学生支援力の向上に繋がった。

また、定期的にいじめのアンケート、自殺防止のアンケート等を重ね、その都度、担任、教務主事、学生主事、寮務主事、学生相談室、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及び看護師等間で情報共有を行い、必要な場合は、関係教員によるチーム体制又は学校全体で対応に当たっており、早期発見早期解決を図っている。

詫間キャンパスでは、学生の心身の健康に関しては、各教員、保健室、学生相談室などが窓口となり、相談内容に応じて連携を図っている。

学校医による健康相談を年3回実施し、毎月学生向けに「保健室だより」及び「学生相談室だより」を発行している。また、年数回、イベントを開催し、気になる学生のサポートと見守りを行っている。

学生相談室では、相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置している。また、長期休暇中もスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置しているため、学生は相談可能である。さらに、毎週木曜日に学生相談室員の情報共有のため定例会を行ったり、精神科医によるこころの相談を月1回実施したりするなど、学生の悩みに対応する体制を強化すると共に、関係者間の情報共有を通して、意思疎通を密にしている。学生の心身の健康状態を把握するため、全学生を対象としたアンケートを定期的実施し、アンケート結果から担任、相談員など状況に応じて関係する教職員でチームを構成し対応している。また、年度当初実施する全学年対象担任面談終了後、全担任がスクールカウンセラーと面談する事により、担任とスクールカウンセラー間の情報共有が密になり、連携が強化されている。

教職員のメンタルヘルスに関するスキルアップを目的とした講演会や学生を対象とした自殺予防に関する講演会を毎年計画的に実施している。さらに、低学年次より心のセルフケアを身に付けるため、低学年向けメンタルヘルスセミナーを実施している。

発達障害を含む障がい学生に対して、本人・保護者等より支援の要望がでた学生に関しては、障がい学生支援委員会を開催し、具体的な支援のあり方を本人・保護者等と連絡を取りながら決定している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

<https://www.kagawa->

[nct.ac.jp/general_affairs/educational_information/kyoiku_kohyo.html](https://www.kagawa-nct.ac.jp/general_affairs/educational_information/kyoiku_kohyo.html)